

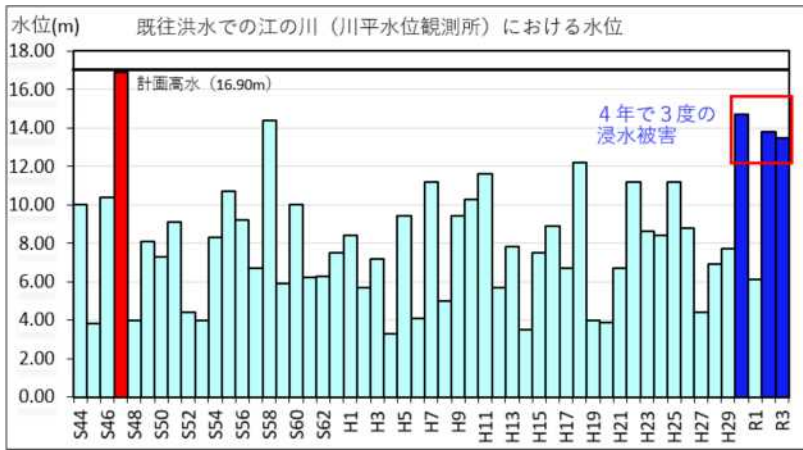


# 江の川だより

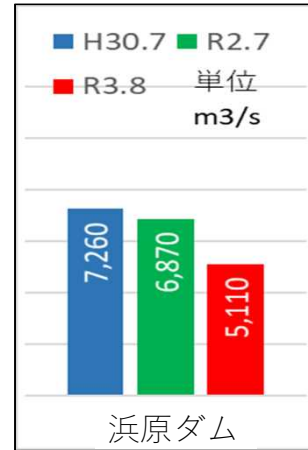
2022.6.13  
第11号

－みんなで取り組む江の川の流域治水－

## 近年（H30,R2,R3）の出水ふりかえり



川平水位観測所の最高水位



浜原ダム最大通過流量

近年、江の川においては4年で3度の浸水被害が発生しており、平成30年7月豪雨では観測史上2位（川平観測所）を記録しています。また、平成30年7月と令和2年7月の洪水では江の川中下流域の47地区で浸水被害が発生し、そのうち15地区で家屋浸水被害が発生しました。さらに令和3年8月の洪水では34地区で浸水被害が発生し、5地区で家屋浸水被害（内水を除く）が発生するなど大きな被害をもたらしました。

## 川の水位やカメラ映像の入手は？（川の防災情報）

国土交通省では身近な「雨の状況」、「川の水位と危険性」、「川の予警報」などをリアルタイムでお知らせする「川の防災情報」を開設しています。

大雨時の情報収集にご活用下さい。



川の防災情報は  
こちらから

川の防災情報

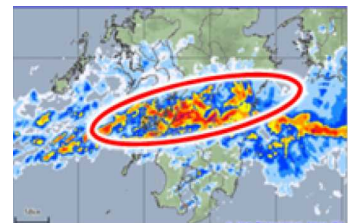


二次元コード

二次元コードから川の防災情報に入り、川の水位情報を選択し、自宅周辺の $\text{📍}$ や $\text{📷}$ のマークをタップすることで、河川の水位やカメラ映像を見ることができます。

## 線状降水帯の予測による呼びかけについて

令和4年6月1日から気象庁が線状降水帯による大雨の予測を半日程度前に行う「線状降水帯予測」が始まりました。線状降水帯は同じ場所を通過または停滞し、強い雨を特定地域にもたらすため、自治体が発令する避難情報や大雨警報等の防災気象情報と合わせて、避難の判断にご活用ください。

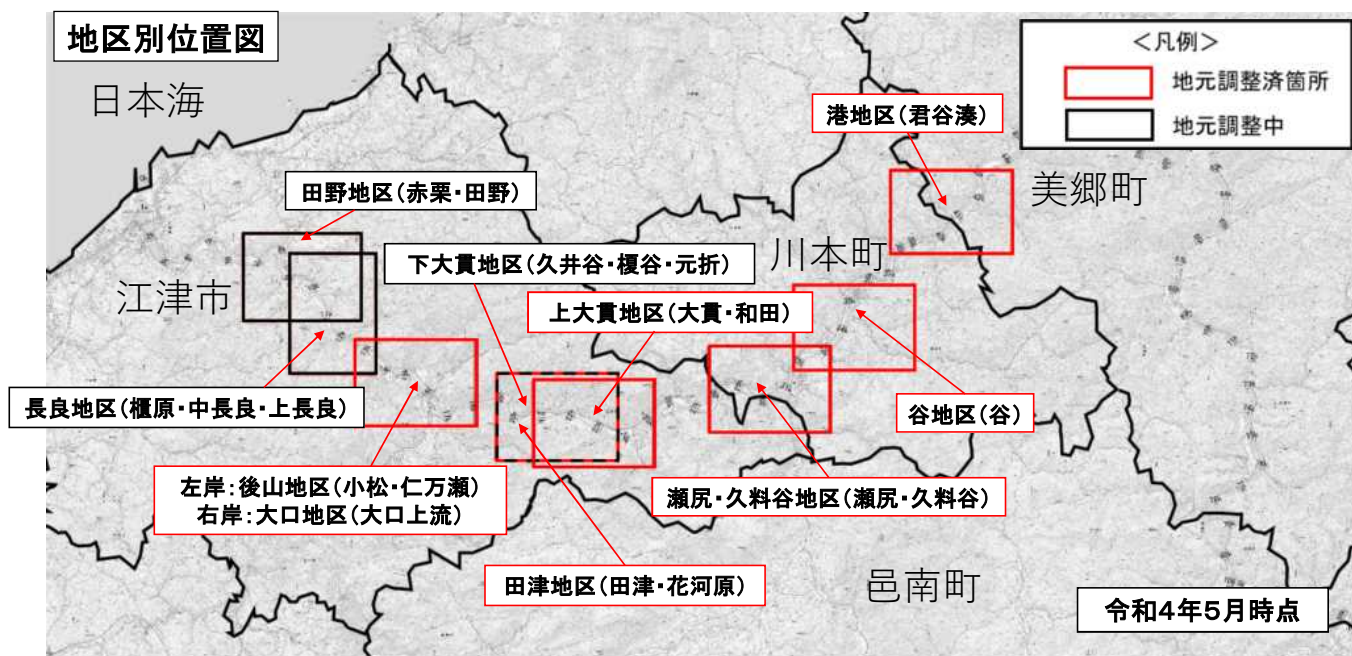


線状降水帯の雨域

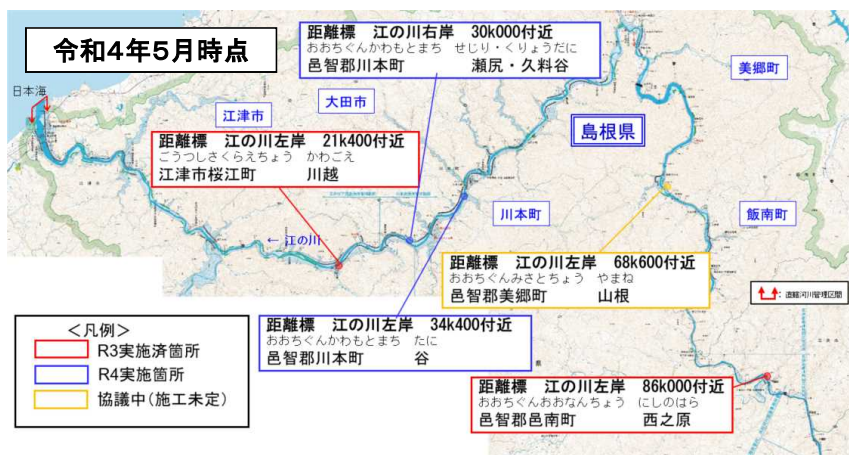
# 「治水とまちづくり連携計画」に基づく進捗

「治水とまちづくり連携計画（江の川中下流域マスタープラン）」に基づき、集落や自治会単位で説明会等を実施しています。

下記の地区別位置図で示している赤枠の地区については、住民の方の意向把握や調整を行い、対策方法が確定している地区です。他の地区についても、引き続き住民の方の意向を確認しながら調整を進めてまいります。



## 応急対策について



応急対策位置図



応急対策完了（谷地区）

位置図のとおり応急対策を進めており、谷地区において大型土のうによる仮設堤防が完成しました。瀬尻・久料谷地区については令和4年6月末完成予定です。

### 問い合わせ先

〒697-0034 島根県浜田市相生町 3973

国土交通省中国地方整備局 浜田河川国道事務所 Tel 0855-22-2480

〒695-0011 江津市江津町672番地4

国土交通省中国地方整備局 江の川流域治水推進室 Tel 0855-54-0377



推進室HP



浜田河川国道事務所Twitter